

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【公表番号】特表2012-516264(P2012-516264A)

【公表日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2011-547976(P2011-547976)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/427 (2006.01)

B 6 0 N 2/26 (2006.01)

B 6 0 N 2/48 (2006.01)

A 4 7 C 7/50 (2006.01)

B 6 0 N 2/22 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 N 2/427

B 6 0 N 2/26

B 6 0 N 2/48

A 4 7 C 7/50 A

B 6 0 N 2/22

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月28日 (2013.1.28)

【手続補正 1】

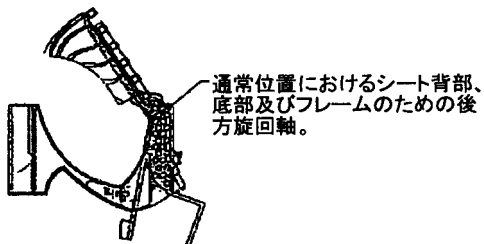
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 - 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 - 1 1】



【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

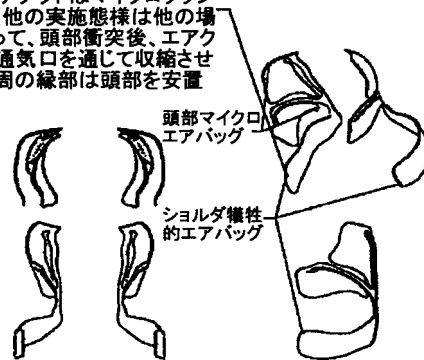
【補正対象項目名】図 6 - 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 - 6】

この実施態様において、エアダクトはマイクロクッションの頂部に延びている。(他の実施態様は他の場所に引込みを有する。)よって、頭部衝突後、エアクッションが底部にある一次通気口を通じて収縮させられると、ヘッドレストの外周の縁部は頭部を安置する。



【手続補正 3】

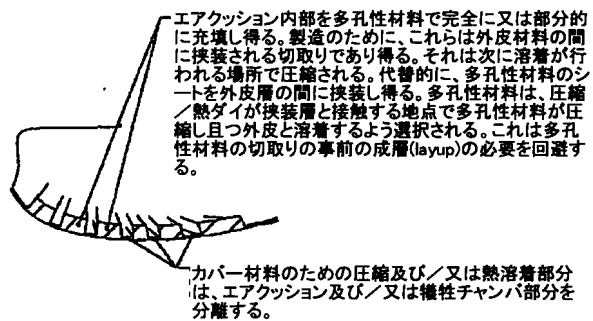
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6 - 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 - 7】



【手続補正 4】

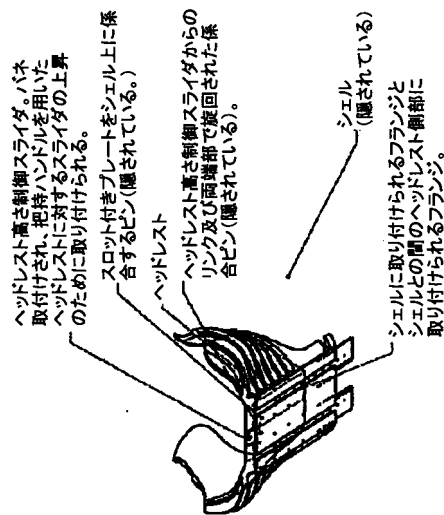
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 4】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

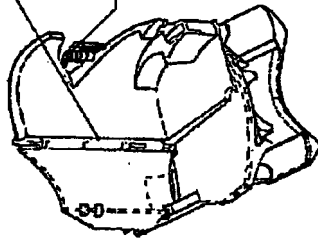
【補正対象項目名】図 7 - 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 9】

旋回軸は取り外され(境界的な荷重
で破壊し或いはフレームから前方に
移動するようバネ取付けられ)、そ
れによって、極度の荷重の下で、出
入り位置への回転を許容する留め
金の崩壊に伴い完全レベルの回転
が得られた後に、外側シェールが買入
から離れる方向に移動するのを許容
する。
初期荷重を支持するために、側方衝突
の間、留め金は外側シェールを所定位置
に保持する。しかしながら、極度の荷重
を伴う買入状況の下では、留め金は崩
壊して、正に出入り位置におけるよう
に、外側シェールが回転することを可能に
し、それによって、乗員を買入から離れ
る方向に移動させる。
この側から装着する



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 0】



【手続補正 7】

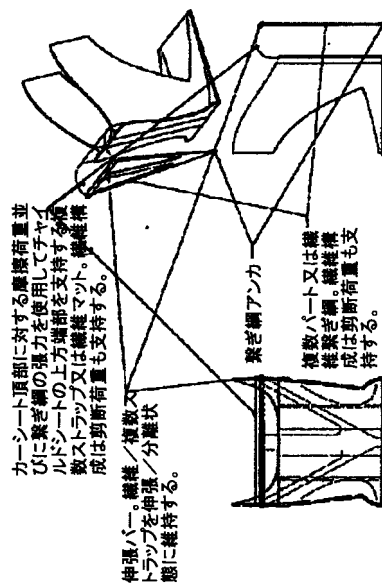
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 1】



【手続補正 8】

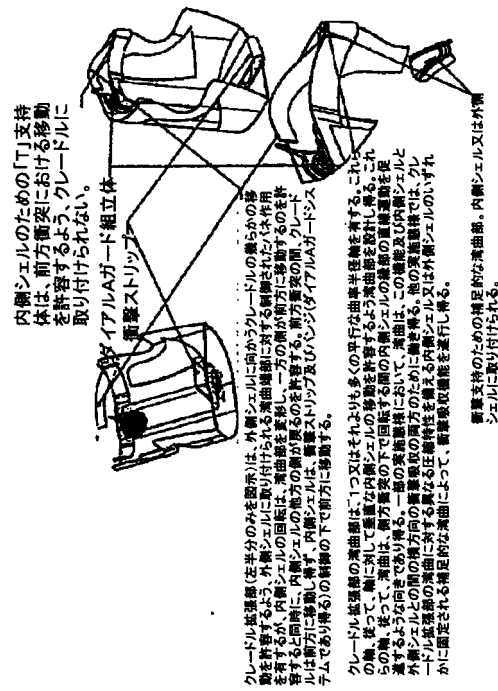
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 2】



【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 3】

